

# ひまわり



校長先生から一人ひとりの手に卒業証書が

## 惜別の思いと卒業の喜びを胸に 小中学校で卒業式

3月11日、横芝中学校で平成10年度卒業証書授与式が行われ、りっぱに成長した206名の卒業生が大木校長先生から一人ひとり卒業証書を受け取りました。

3年間一緒に学んだ友達、先生とも今日でお別れ、惜別の思いと卒業の喜びが胸いっぱい広がった卒業生は、大人になるための新たなステップを踏み出しました。

また、3月18日には大総、横芝、上堺の各小学校でそれぞれ卒業式が行われ、163名の6年生が思い出の学舎をあとにしました。

4月からは中学生ですね。新たな友達をたくさん見つけ、勉強にスポーツに頑張ってください。



6年間の思い出を胸に

## サケの帰る川 “栗山川” 横芝小と上堺小の5年生が稚魚を放流

3月8日(月)、横芝小学校と上堺小学校、そして光町の南条小学校の5年生135名の手によって、10万尾のサケの稚魚が横芝堰から放流されました。

栗山川はその昔、淡水漁業で賑いをみせていましたが、時代とともに川の汚れが進み、昭和40年代には水辺をはねる魚たちの数もかなり減少してしまいました。そこで当時の関係者は、水産資源の確保と栗山川の環境美化運動の一環として「きれいな川にしか棲めない」と言われているサケの稚魚を放流し、「サケの回帰できる川」にしようと、昭和51年からこの「サケの稚魚の放流」が行われています。

今年放流された稚魚が、3、4年後にたくさん回帰できるように私たち一人ひとりが栗山川を汚さないように心がけましょう。



多くのサケが回帰できるように私たち一人ひとりが川を汚さないように心がけましょう

地区のみなさんが  
一体となって行われている『福祉バザー』



## 鳥喰地区のみなさんが『福祉バザー』

2月14日の日曜日、町文化会館を会場に、横芝地区社会福祉協議会鳥喰地区分会(越川孝一会長)主催の『第2回福祉バザー』が行われ、大勢の人たちで賑わいました。

横芝地区社会福祉協議会鳥喰地区分会では、小子高齢化に伴う高齢者の増加により、同地区にも一人世帯のお年寄りが増えてきていることから、この人たちに少しでも楽しいひとときを過ごしてもらおうと、年に数回、演芸などを見ながらの食事を実施しています。

この『福祉バザー』は、同地区にお住まいの方々が、社協鳥喰分会のこの趣旨に賛同し、各家庭から品物を持ち寄って行われているものですが、第3回目は、今年の夏に行う予定です。